



平成 29 年 8 月 18 日
中部地方整備局 名古屋港湾事務所
清水港湾事務所
御前崎港客船誘致協議会

しゅんせつけんあぶらかいしゅうせん せいりゅうまる
浚渫兼油回収船「清龍丸」が御前崎港初入港
～8月25日(金)油回収訓練、26日(土)一般公開～

浚渫兼油回収船「清龍丸」(国土交通省中部地方整備局 名古屋港湾事務所所属)は、静岡県御前崎港中央埠頭岸壁で油回収訓練及び一般公開を行います。

1. 概要

清龍丸は、油回収機能 及び 防災機能を備えた船です。訓練は大規模油流出を想定した油回収訓練や緊急支援物資・人員等の輸送を想定した、清龍丸への離着船訓練を静岡県防災ヘリ「オレンジアロー」と連携し実施します。

また、あわせて御前崎海上保安署所属巡視船「ふじ」との同時一般公開を行います。

2. 日時・場所

日 時 : 油回収訓練見学会・・・平成29年8月25日(金)①10時00分～②13時00分～
(岸壁上からの見学)

船内一般公開・・・・・・・平成29年8月26日(土) 10時00分～15時00分

※事前申し込み不要、入場料無料

場 所 : 御前崎港中央埠頭1・2号岸壁

【浚渫兼油回収船「清龍丸」】

国土交通省では、全国に3隻の浚渫兼油回収船を保有しており、その1隻である「清龍丸」は、大規模油流出事故に備えるとともに、平時は名古屋港において航路や泊地の浚渫作業を行っています。

また、東日本大震災の際は岩手県の釜石港・大船渡港へ緊急支援物資の運搬、熊本地震の際は大分港へ緊急支援物資の運搬や三角港では被災者の方への入浴支援を行うなど、防災船として活躍しております。

3. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、
静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、掛川記者クラブ、港湾空港タイムス、
港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

4. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 中野(なかの)
Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 総務課 大部(おおべ)
Tel 054-352-4146 Fax 054-353-3072

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課 宛
 E-mail : pa.cbr-shimizukikaku@mlit.go.jp
 FAX番号 : 054-353-3072
 ※FAXの場合は到着確認のご連絡をお願い致します。
 TEL : 054-352-4148

「清龍丸油回収訓練・一般公開」 取材申込書

申込方法：以下にご記入の上、メール又はFAXにてお申し込み下さい。

| | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 会社名及び部署名 | 会社名： _____ 部署名： _____ |
| 取材者 ※全員分の氏名・役職 を記入願います。 | 代表者氏名： _____ 役職： _____ |
| | 同行者氏名： _____ 役職： _____ |
| | 同行者氏名： _____ 役職： _____ |
| 連絡先 ※代表者の連絡先を 記入願います。 | 電話番号： _____ FAX番号： _____ |

申し込み締め切り：平成29年8月24日(木) 12:00必須

※ 取材当日は、8:45~9:00の間に御前崎港中央ふ頭岸壁にて受付願います。

<会場案内>

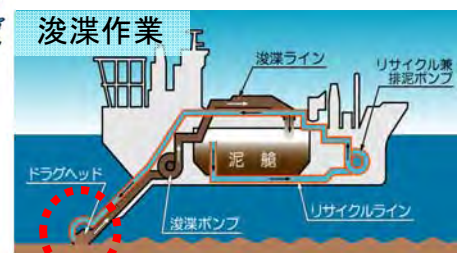
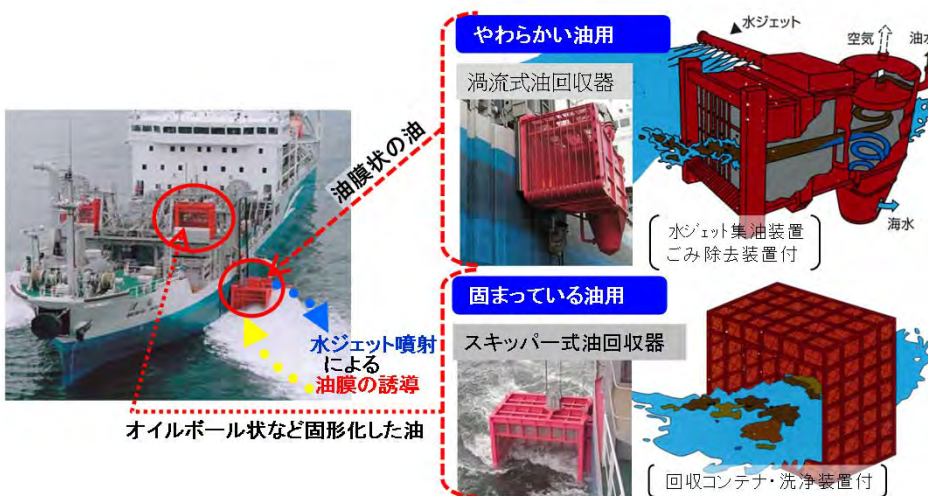
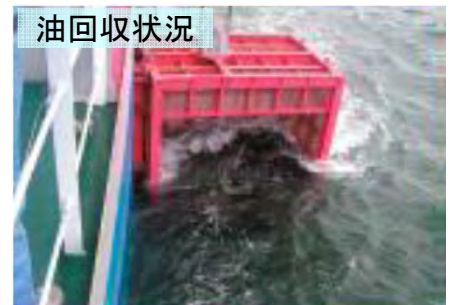
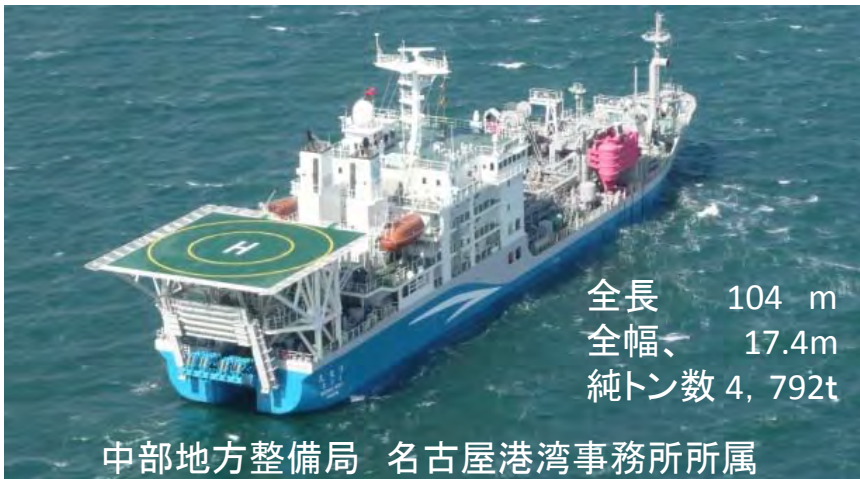


国土地理院地図 電子国土 web(<http://mapps.gsi.go.jp>)を基に中部地方整備局作成

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
 - ・高精度で平坦浚渫を可能とする幅広い新型ドラグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
 - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時には、災害支援作業(災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等)。
 - ・情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等のためのヘリデッキを装備。



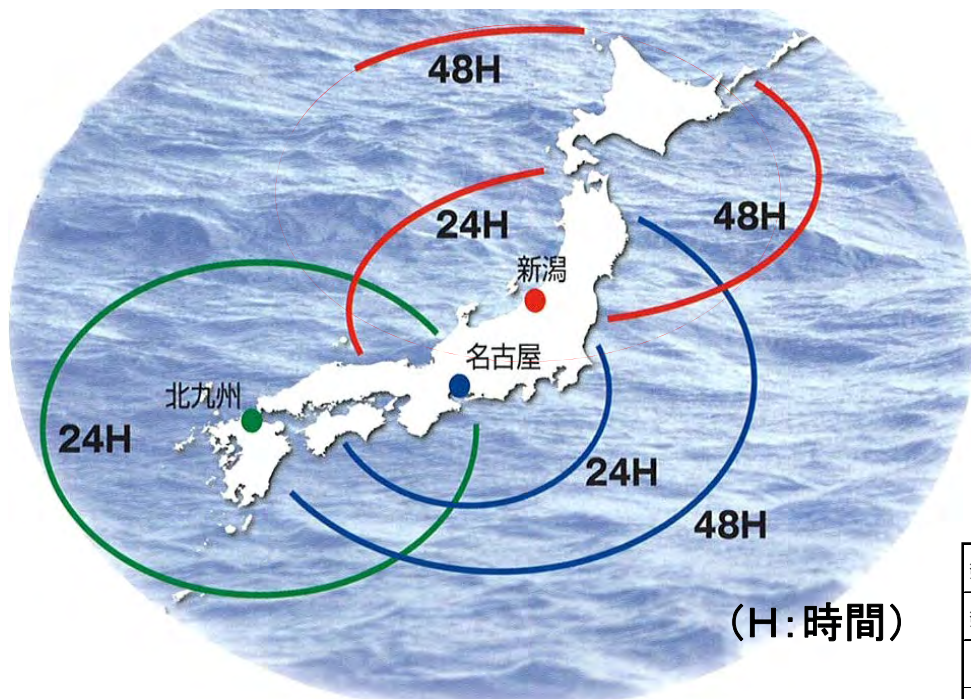
油回収タンクに約1時間で1,000kl (ドラム缶約5千本分)の油水を回収可能。

浚渫兼油回収船「清龍丸」

1997年1月のナホトカ号油流出事故を契機として、我が国沿岸域における油防除体制の強化に向けて、大型浚渫兼油回収船を配備。

大型浚渫兼油回収船は「清龍丸(名古屋港)」「海翔丸(北九州港)」「白山(新潟港)」の3隻が配備され、海上保安庁からの出動要請(海防法41条の2)に基づき、出動後概ね48時間以内で本邦周辺海域の現場へ到着し、迅速かつ確実な作業を実施できる体制を確立。

◆全国をカバーする大型浚渫兼油回収船3隻配備体制



- 白山(新潟港)【2002年5月竣工】
- 清龍丸(名古屋港)【2005年3月竣工】
- 海翔丸(北九州港)【2000年11月竣工】



清龍丸(名古屋港)

◆清龍丸の油回収実績

| 発生日 | 1978.1.18 | 1990.1.26 | 1997.1.2 | 1997.4.3 | 1997.7.2 |
|------|-----------|-------------|----------|----------|-------------|
| 発生場所 | 三重県 四日市沖 | 京都府 経ヶ岬沖 | 島根県 隠岐島沖 | 長崎県 対馬沖 | 東京湾 本牧 |
| 流出量 | 105 K L | 650 K L | 6240 K L | 186 K L | 1550 K L |
| 事故船名 | 降洋丸 | マリタイムガーデニア号 | ナホトカ号 | オーソン号 | ダイヤモンドグレース号 |
| 出動日数 | 5日間 | 26日間 | 54日間 | 13日間 | 5日間 |
| 油回収量 | 5 K L | 20 K L | 938 K L | 8 K L | 228 K L |

「清龍丸」による東日本大震災後の活動

2011年3月11日の東日本大震災発生時に、東北地方太平洋側の港湾は一時利用できなくなりましたが、航路啓開活動等により、釜石港(3月15日午後6時)、大船渡港(3月22日午後9時)が一部復旧。

陸上からの大量輸送が困難なため、清龍丸(浚渫兼油回収船)により釜石港、大船渡港まで建設重機、緊急支援物資(食料品、飲料水、生活用品)等を運搬。



支援物資輸送等の拠点となる港湾と周辺地域を結ぶ道路を発災後すぐに啓開



苦小牧港から運搬した緊急支援物資を大船渡港で陸揚げ

熊本地震災害の支援物資輸送のため、4月18日(月)10:00に名古屋港を出発した中部地方整備局所属の大型浚渫兼油回収船「清龍丸」は、4月20日(水)7:00に大分港に到着、7:40から支援物資の荷下ろしを行い、九州地方整備局に引き渡しました。

トラックに乗せられた支援物資は、同日中に南阿蘇村に届けられました。

支援物資： ペットボトル(500ml)約2万本分、食料(約2,700食)、毛布等



大分港 位置図



支援物資 荷下ろし状況



支援物資 荷下ろし状況



支援物資を乗せたトラックが南阿蘇へ向け出発

熊本地震への対応 ～清龍丸による災害支援活動報告②～

熊本地震災害の支援のため、4月18日(月)に名古屋港を出発した中部地方整備局所属の大型浚渫兼油回収船「清龍丸」は、同月20日(水)に大分港で水、食料等の支援物資を荷下ろし(同日中に南阿蘇村等の被災地に到着)した後、三角港に移動し、同月23日(土)から25日(月)の3日間、給水、入浴、軽食、携帯電話充電等の支援を行いました。

- 主な支援実績
- 給水：24日(日)、九州地方整備局所属「海煌」へ2トン
 - 入浴：延べ298名(支援時間：23日(土)18:00～21:00、24日(日)9:00～21:00、25日(月)9:00～21:00)
 - 軽食：入浴された方のうち、希望者に船内で調理したカレーライスやうどん等を提供(入浴者の概ね8割が利用)
 - その他：入浴された方のうち、希望者に船内の施設(携帯電話充電用電源・洗濯機・乾燥機)を提供



給水支援(海煌へのポンプによる給水の状況)



清龍丸に乗り込む利用者



三角港へ入港した清龍丸



入浴支援(船内案内)の状況



入浴支援(軽食提供)の状況

しゅんせつ兼油回収船

平成29年8/25(金)～8/27(日)

せいりゅうまる

「清龍丸」が御前崎港に初入港



しゅんせつ兼油回収船「清龍丸」

清龍丸について

「清龍丸」は、国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所
に所属し、通常は、名古屋港で航路や泊地のしゅんせつ作業を行
っています。大量の油が海面に流出した際は、直ちに流出現場
に向かい、油回収作業に従事するほか、大規模災害時には、緊
急支援物資の運搬や給水・入浴支援なども実施しており、東日
本大震災や熊本地震の被災地でも活躍した船です。

会場案内



住所：静岡県御前崎市港6168-1
御前崎港 中央埠頭(御前崎海上保安署信号北側)
★無料駐車場 完備

スケジュール

8/25(金)

10:00～(1回目)
13:00～(2回目)

油回収訓練 ヘリ離着船訓練

防災ヘリコプター「オレンジアロー」



静岡県HPより

※油回収訓練に合わせて、静
岡県防災ヘリコプター「オレン
ジアロー」による「清龍丸」へ
の離着船訓練も実施します。

訓練状況は、中央埠頭岸壁上から自由に観覧することができます。

8/26(土)

10:00～15:00

「清龍丸」、「ふじ」 一般公開

先着順にご案内します。

サンダルやハイヒールでの乗船は危険を伴いますのでご遠慮願います。

巡視船「ふじ」



第三管区海上保安本部HPより

※10:00～12:00,13:00～15:00
の時間は、御前崎海上保安署
所属巡視船「ふじ」の同時一般
公開を実施します。

8/27(日)

10:00

出港

多くの方のお見送りをお願いします。

主催：国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所・御前崎港客船誘致協議会

お問合せ先：御前崎市商工観光課企業港湾室 TEL:0537-85-1164・牧之原市商工企業課 TEL:0548-53-2647